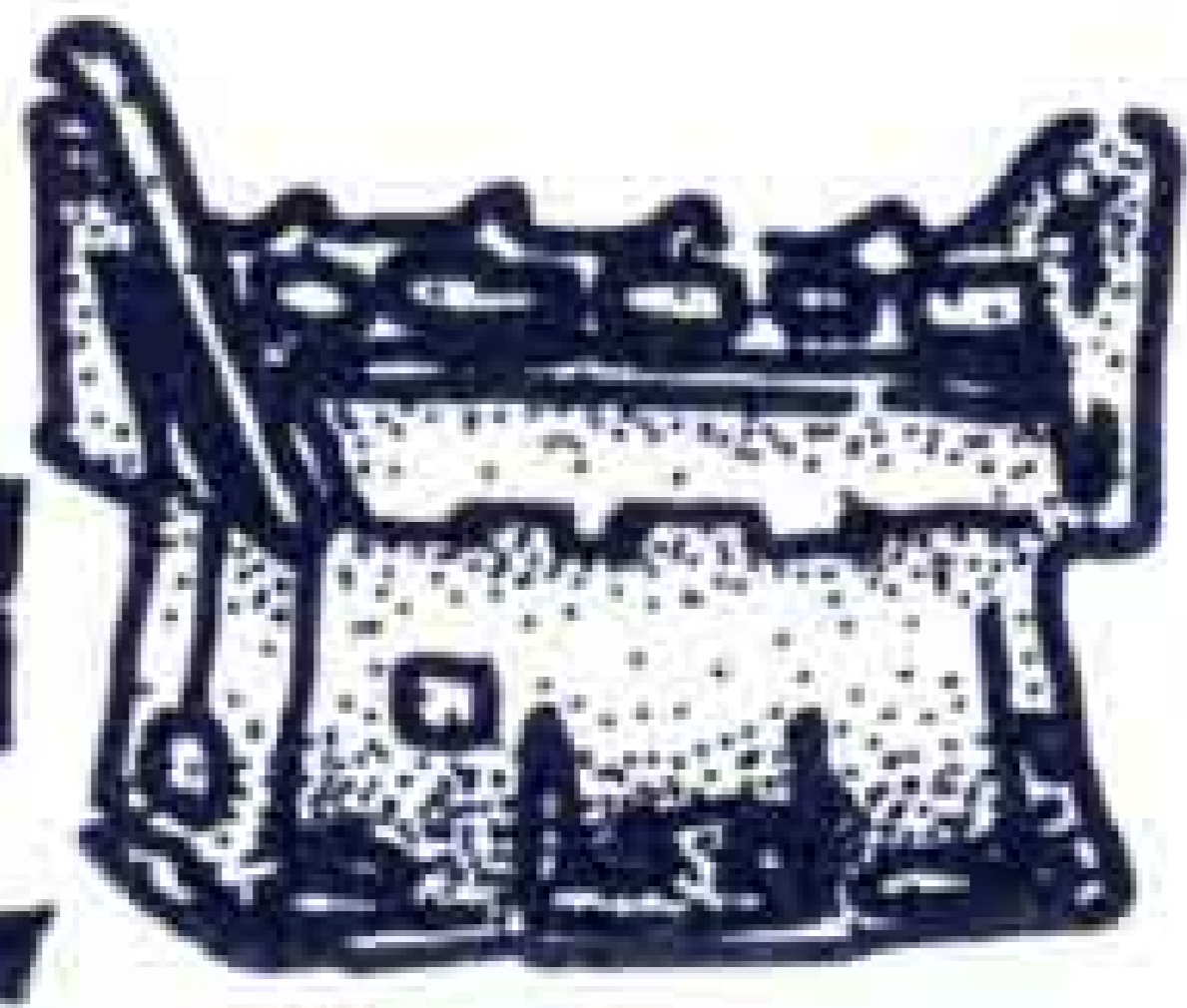




ふるさと 歴史



よしわらと呼ばれたのは、いつごろからでしょう……

田子の浦港の東側にあった見付(みつけ)が高波のため、今井鈴川地区に場所が変わりましたね。この元吉原宿の時、正式に「よしわら」と宿場の名前が決められました。

それから中吉原宿、新吉原宿と移って明治22年に吉原町、昭和23年に吉原市となりました。

「よしわら」と決められたのは江戸時代ですが、土地の名前としては鎌倉時代の初めころから呼ばれていたようです。

みんなは「よし」を知っています

吉原 鷹岡地名がしたのは

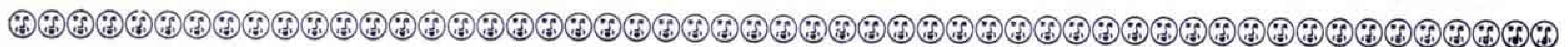
か。水辺にはえるいね科の植物です。昔の富士川は、浮島沼のあたりで直接するが湾に流れていましたから、ここは浮島ヶ原と呼ばれた水郷でした。浮島ヶ原には、きっといちめんによしがはえていたんだと思います「よしの原」から「よしわら」となったのかもしれませんがはっきりした史料はありません。

鷹ヶ丘から鷹岡に……

鷹岡の久沢には、鷹ヶ丘と呼ばれたところがありました。鷹ヶ丘は曾我兄弟の五郎が鎌倉に送られる途中首を

討たれたところでした。鎌倉時代は鷹ヶ丘を通り、身延線に平行して東には甲州街道が続いていました。

また、このあたりから富士山が見えないことから、鷹ヶ丘のことを富士がくれともいいます。



6年生全員が交通安全リーダー

下級生の指導に頑張っています

恐い交通事故から身を守り、下級生の指導を行ってもらうため、市内の全小学校の6年生に4月から交通安全リーダーをお願いしました。

リーダーは、いつでも下級生の模範になってもらいますが、だれにでもわかるように腕にワッペンをつけています。



各学校ではリーダーが下級生の指導を正しくできるように、新入生といっしょに、通学路を利用して実地訓練を行っています。

みなさん、リーダーの注意をよく守っ

て、恐い交通事故に合わないよう注意しましょう。

交通安全リーダー

どうろであそびません

どうろにとひだしません

くるまのすぐまえやうしろはおうだんしません